# 第５学年　外国語科学習指導案

## １　単元名　My Hero ～紹介したい身近な人～

## ２　単元について

単元のゴールには，自分が紹介したい人物の魅力をカードに記しその人に贈るという活動を設定している。この活動を通し，身の回りの家族や友達に目を向け，互いの良さを認め合い自尊感情を高めたり，頑張っている人に刺激されたりといった機会を児童がもつことが期待できる。また本単元では，既習表現である，I/You can ～. Can you? に加え，be good at ～ の表現や，he/she という代名詞が使えるようになることにより，これまで「自分とあなた」の間での会話が多かった児童が，第三者についても語ることができるようになり，より豊かなコミュニケーションができるようになることを目指す。

## ３　単元の目標

○身近な人を紹介する語句や表現を理解し、身近な人について、その人の魅力を含めて、他者に配慮しながら紹介することができる。

## ４　単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 聞くこと | He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 | 身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取っている。 | 身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。 |
| 読むこと | | | |
| 話すこと［やり取り］ | He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 | 身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 | 身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 |
| 話すこと［発表］ | | | |
| 書くこと | 大文字と小文字のルールを理解し，例文を参考に慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書く技能を身に付けている。 | 本単元では，「書くこと」における「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」については，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。 | |

## ５　言語材料

・He [She] is <u>my father [mother]</u>.　<u>She</u> is good at <u>playing baseball</u>.　Who is he [she]?
・家族(brother, sister, grandfather, grandmother)　・動作（kick, skate など）

【既出】I [You] can ～.　動作（run, swim, play soccer, do *kendo*, sing, cook, dance など）

## ６　単元指導計画（全７時間）※◎は，本時

| 時 | 目標 | 主な活動（◎中心活動） | 指導形態 | 評価 知 | 評価 思 | 評価 主 | 評価 本時における主な評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。 | ◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。<br>・できることを伝え合う。 | TT | | | 聞 | 身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。 | 観察<br>振り返りカード |
| 2 | 家族に関する表現に慣れ親しむ。 | ・家族に関する表現を知る。<br>・キーワード・ゲーム<br>◎ラッキーカード・ゲーム | TT | | | | 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。 | 観察<br>振り返りカード |
| 3 | 得意なことを表す表現に慣れ親しむ。 | ・有名人の得意なことを知る。<br>・キーワード・ゲーム<br>◎Who is he/she? カルタ取りゲーム | TT | | | | 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。 | 観察<br>振り返りカード |
| 4 | 第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。 | ・Who is he/she? カルタ取りゲーム<br>・５の３友達紹介クイズ<br>◎先生クイズを作る | TT | や | | | 身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 | 観察<br>振り返りカード |
| 5 | 第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。 | ・Who is he / she? かるた・ゲーム<br>・５の３友達紹介クイズ<br>◎先生クイズ大会をする | TT | 聞 | 聞 | | 身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。 | 観察<br>振り返りカード |
| ⑥ | 他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。 | ・学級の友達紹介クイズ<br>◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。 | TT | や | や | | 身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。 | 観察<br>振り返りカード |
| 7 | 身近な人について紹介カードを書く。 | ・学級の友達紹介クイズ<br>◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。 | TT | 書 | | | 例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。 | 観察<br>ワークシート<br>振り返りカード |

## 7 本時について

本時では，児童が準備してきた写真を見せながら身近な人を紹介する活動を行う。Warming up では，「30 秒クイズ」で本校教員について伝え合う活動や，クラスの友達を ALT に紹介する活動を行う。その後，担任や ALT が自身の家族を紹介することで児童の知りたい気持ちを高め，本時のめあて「身近な人の魅力を伝えよう」という活動につなげる。どんな内容を伝えるとよいかを考えさせながら伝え合う活動に取り組ませる。初めは不完全な英語でも，相手を替え何度も伝え合わせたり，困ったことを全体で共有し解決しながら次の活動に向かわせたりすることで，表現を少しずつ増やすとともに目的に合うよう内容を高めていく児童の姿を期待する。また，一方的な伝え合いにならないように，相手に伝わっているかを確認したりすることも大切にしながら指導をしていく。

・ **本時の目標**　他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。【思考・判断・表現】

**・展開（本時：６／７時目）**　主な英語表現

| 児童の主な活動 | 教師の働き掛け(●)と評価（◇） | |
|---|---|---|
| | HRT (H) | ALT (A) |
| Greeting & Review<br>○あいさつをして，前時の学習を振り返る。 | ●前時の振り返りカードの感想から，本時でも意識させたいことを紹介する。 | |
| Warming up<br>○30 秒クイズ<br>校内の先生について伝える。 | ●児童の発言から，よいヒントや本時のメインになる活動で使うことを期待している表現を取り上げて紹介する。 | ●児童の不完全な表現を正しい表現に直して聞かせ，気付きを促す。 |
| ○学級の友達クイズ<br>学級の友達についてALT に伝える。 | ●これまでの日常生活での関わりの中から，友達の紹介内容を即興的に考えさせる。本時のメインの活動につなげると同時に互いを認め合う場とする。 | |
| ○Small Talk<br>指導者のやり取りを聞いて、本時のめあてを知る。 | ALT: ○○-*sensei*, show me your picture.<br>HRT: Yes.<br>ALT: Who is he?<br>HRT: He is my brother, ○○.<br>ALT: How old is he?<br>HRT: He is 30. He is a math teacher at ○○junior high school. He can do *kendo*.<br>ALT: Wow, great! Can you do*kendo,* too?<br>HRT: Yes, I can. I can do *kendo*, too.<br>ALT: Nice. | |

| | | |
|---|---|---|
| **身近な人の魅力を伝えよう**<br>○Activity<br>◎写真を見せながら，身近な人を紹介し合う。<br>①ペアで紹介する。<br>C1C2: Hello.<br>C2: Who is she?<br>C1: She is Yumi.<br>She is my sister.<br>She is good at drawing.<br>C2:Nice.<br>②全体で紹介する。 | ●これまでの学習を振り返り, 魅力を伝えるために, 自分が伝えたい内容を考えさせ，必要があれば練習もさせる。<br>●よりよく伝えるためにジェスチャーを使ったり, 相手の言葉を繰り返しながら聞いたり, よい関わりをしている児童を紹介する。<br>●表現で困ったことがあれば, 全体で共有し, 使える表現を少しずつ増やしていく。 | ●表現が分からない児童に個別に対応したり，児童の困ったことを全体で共有したりする。 |
| ◇身近な人の魅力を伝えるために，　伝えたい内容(語句や表現)を選んで表現している。<br>【思考・判断・表現】(行動観察・振り返りカード)<br>●掲示物を手掛かりに，今までに学習した表現を想起させ伝えたい内容を一緒に考える。表現を一緒に言ったり，ジェスチャーで伝えるなどの方法を考えたりする。 | | |
| Reflection＆Sharing<br>○本時の活動を振り返る。 | ●表現やコミュニケーションの工夫, に関することなどを取り上げ，全体で共有し，次時の活動に生かす。 | ●児童のよかったところを簡単な英語で褒める。 |